

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月13日(10:00～11:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、石田、吉田、渡邊、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	4人	0人	12人

前回の改善計画
 マンネリ化している事、支援について業務として捉えている部分が多く、相手の立場になって思いやる姿勢が足りていない。業務優先から利用者様と話をすること、話を聴く等時間も不十分と感じている為、15時の定時水分提供時等に職員も手を止め利用者様の間に座りお話をすることを設け寄り添う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 小規模多機能型の業務は送迎を含めて多岐に渡り、決められた時間内に限られた職員数で遂行する必要がある為、思いはあっても実際に利用者様の傍へ寄り添い十分な対話をするのは難しい事がある。送迎や配食等で職員が手薄になる前に、業務を終わらせようと業務優先してしまう事がある。利用者様との関りについては、職員同士が連携することで改善の余地があると思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	1	0	11 (無回答1)
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	10	1	0	11 (無回答1)
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	7	0	0	11 (無回答1)
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	9	2	0	11 (無回答1)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用開始前アセスメント等を通し、留意点等情報共有を図り利用開始間もない利用者様の、不安や戸惑いの解消を心掛けている。新たな気づきがあればまた共有しフィードバックする事が出来ている。申し送り等を活用し意識的にコミュニケーションを取り、信頼関係を作れた。朝礼・夕礼の見直しを行い、職員間で情報共有が以前より出来ている。朝のミーティングで情報共有し1日の流れを伝えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 受入前の人物イメージが作れていない。アセスメントシートに目は通しているが、深く理解するに至っていない。仕事について責任感を持ち、利用者様の気持ちを感じる姿勢が少し足りない。職員が個々に思う仕事への考え方の違いが現れてきている為、随時、目標の再認識が必要と思われる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・『利用者様優先』の意識付けの為、朝礼、夕礼にて事例を出しながら繰り返し職員に伝える。
 ・アセスメントシートを箇条書きにして、1文1情報など『分かりやすくシンプル』に変更をすることで職員が情報を把握しやすくする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 13日 (10:00 ~11:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、石田、吉田、渡邊

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画

ケアプラン・アセスメントシート等の理解不足、個々の目標に対し常に把握しておく意識の薄さを感じる。慣例で業務に当たる事が多く、現状把握と問題の原因を詳しく話し合う機会が少ない。利用者様担当、管理者、ケアマネージャー、リーダーでサービス担当者会議を設け原因究明や今後の方針について話し合い、利用者様担当より、他職員に情報周知する事で担当者としての責任感の意識付けに繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

小規模会議で利用者様の様子を話し合い、安心・安全なサービス提供に努めている。ミーティング等で話し合った内容や、申し送りに抜けがある事や、読まなくその場に居ない職員に伝わらない事があった。現状の把握から問題の改善が不十分に思える。現在の情報共有取り組みは職員に見えづらく、分かりづらいのだと思う。何となく聞いているのではなく、話し合う機会として捉えていく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	3	0	11 (無回答 1)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	2	0	11 (無回答 1)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	3	0	11 (無回答 1)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	10	1	0	11 (無回答 1)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

会議や朝礼等で情報共有して、取り組むようにしている。朝礼・夕礼・会議の場を利用し振り返りや次の対応に活かせるようにしている。本人がどういう生活をしてきたか趣味や希望等を聞いて、その人らしさのケアに努めるようにしている。利用者様と話す事でそのニーズを汲み取るよう努め、得られたものを職員間で共有して支援に当たる事が出来ている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

情報交換の場が少ないので、スタッフ間の情報共有が十分でないと感じる事がある。全体と展望に対する理解が浅い。日々の業務内容に視点を置いてしまい、長期目標に向かって何をすべきかまで理解出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・日々の朝礼、夕礼を伝達手段としての場から、話し合いの場としての方向に意識を転換する。
- ・マニュアルの理解に個人差があり、自己流の業務対応傾向が見られるので職員間での声掛け確認の習慣化に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月13日 (10:00 ~ 11:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、石田、吉田、渡邊

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画

本人様やご家族のお話から気持ちを汲み取る事、ご家族に踏み込んで確認出来ない事があった。ご家族の状況をふまえて施設とご家族の報連相を密にする必要がある。また、申し送り事項からの読み取りに注意が不足している。誰が読んでも分かるように心掛け些細な事でも記録に残し、情報共有に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

家族からの要望には直ぐに対応出来ているが、逆に言われるまで改善案等を提案し相談出来ていない。職員が個々で業務を進めている為、対応に応じて役割を変えるなど連携した動きが出来ない。ご家族とは、在宅時の様子、生活歴を伺い得られた情報は現場で共有出来るよう努めているが、情報収集がまだまだ不足している。コロナ禍もあり、特に長期宿泊利用者様のご家族様とは、話す機会が持てない状況であり、最低限の報連相しか出来ていない可能性が考えられる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	1	11 (無回答1)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	9	0	0	11 (無回答1)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	3	0	11 (無回答1)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	1	0	11 (無回答1)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1	0	10 (無回答2)

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者様に関われる時、見守りが必要な時積極的にコミュニケーションを図った。基本的な支援は出来ている。日々接している中での変化に気付けるよう努力し、気付いた時はバイタルを測り適切な処置をし、共有出来ている。現状をご家族に伝える様にしている。変化があった場合、分かりやすい文章で記録を残し口頭でも申し送り、情報共有に努めている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の以前の暮らし方では、10個以上の把握は出来ていない。ケアプランにない部分での情報収集が足りない。元々の把握がしっかり出来ていない事が原因であり、受入前、後に関わらず理解していく努力が必要と感じる。申し送った内容が、上手く伝わっていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・本人意思・施設・ご家族との報告・連絡・相談を行うことで、真のニーズに添えていけるよう取り組む。
- ・ご家族と施設との意思疎通の向上に向けて、分かりやすい記録と情報発信に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 10月 13日 (10:00～ 11:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	鈴木ケアマネ、浅石、石田、吉田、渡邊

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	1人	1人	12人

前回の改善計画
<p>直接、地域の方やご家族と交流する機会は減ってしまったが、書面を通して伝える事やリモートでの面会を活用するなど、新しい方法で施設を発信できるようにしていきたい。 業務の効率化を図り、少しでも時間に余裕を持てるようにし、介護の在り方を見直すため、職員教育とご家族との関りに重点を置いていきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>ご家族様来荘時には、「〇〇さん、来てくれましたよ」と声掛けをし、お伝えするようにしている。認知症により状況が理解出来ない方でも、ご家族の名前を聞くと喜ばれる。また、丁寧な対応をしている。コロナ禍の中、今出来る事は?と目線を変えて取り組めてきている。断るのではなく、出来るだけ近い距離で触れ合えるリモート面会やガラス越しでの対話をして頂ける様工夫している。独居の方には、SOSネットワーク事業を活用し見守り体制を作っている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	2	0	11 (無回答 1)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	8	3	0	11 (無回答 1)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	5	0	11 (無回答 1)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	10	1	11 (無回答 1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>生活スタイル、人間関係等を何度も談話をしながら理解に努めた。ご家族様より情報を頂くようにしている。直接訪問介護出来る機会を得る事で、利用者様の生活背景を垣間見える事出来る。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人が利用日以外にどのように過ごしているのか把握が不十分な点がある。業務の効率化を職員同士がフォローし行っているが、利用者様に関わる時間が少なく、浅い関りになってしまっている。地域との関係、民生委員や地域の資源等の把握。コロナ禍の為、地域ボランティアや施設外での交流がなくなっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後の『これからの在り方』を見据えて、施設として出来る事に焦点を当て、積極的に提案出来る体質を身に着ける。 ・職員一人一人の考える力と思考の習慣化の意識を高め、業務の効率化を職員同士で改善出来る職場を目指す。 ・職員間で仕事に対するやりがいを高め合い、その意欲をご利用者様とご家族様を通して地域に発信する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和3年 10月 13日 (10:00 ~ 11:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、石田、吉田、渡邊

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画
職員間の情報共有だけでなく、ご家族にも丁寧な報告を行うことで協力体制を築いていく必要がある。日々の関り方について、再度見直しを行いつつ緊急時の対応や今後の利用者の体調の変化・生活の変化に対して準備と計画の見直しを行っていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果
その日にあった事はご家族様に報告し協力をして頂いているが、緊急時の連携が緊密な形で取れるといい。日々の関りについて事業所で検討を行っている。その日の体調の変化等に気付き職員間で情報共有し報連相が出来た。夜間、緊急時の連絡先を事前に確認するようにしている。マニュアルはあるが、職員一人一人が緊急時の対応が出来るか、確認や教育が必要である。また、平常心で対応出来るよう、具体的な見直しや事前の対策を繰り返し行っておく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	4	0	11 (無回答 1)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	9	0	0	11 (無回答 1)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	0	0	11 (無回答 1)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	1	0	11 (無回答 1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>普段の様子と異なる場合は、気付いた時点を報告、共有し変化に対応出来るように気を付けている。また、ケアマネジャーとの連携含め、ご利用者にあった対応が取れるよう努めている。</p> <p>体調不良の方に対する支援が出来ている。</p> <p>訪問の利用者様は、友人やタクシー等を利用しての通院等も行っている。また、他事業所の配食サービス等も紹介している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>その日のニーズに合わせて柔軟に対応出来ていない。</p> <p>契約時は説明する内容等確認を念入りに確実に行うべき。明確な合意にまで落とし込めていない。</p> <p>コロナ禍の為、地域の資源の利用が出来なかった。</p> <p>夜間、緊急時の職員間の連携が取れるようなシミュレーションが十分でないと感じる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人に緊急時対応の研修教育を行い、理解力を確認する仕組みを作る。 ・緊急時に平常心で対応出来るように、事前対策や緊急時の連絡リストを作成し、適応力の向上に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 14日(13:30 ~ 15:00)

6. 連携・協働

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、橋本、坂本、ソバ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	2人	1人	12人

前回の改善計画
<p>コロナ感染予防の取組を続けながら、まず自分達が行える行事をより良いものにできるように見直しを図っていく。</p> <p>間接的な行事への支援を依頼できないか、今後ボランティア団体の方に相談していきたい。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>コロナ禍における交流自粛の為、ボランティアを招く事や、地域へ出向いての行事やイベントへの参加が出来なかった。感染対策をした上で、荘内で出来るささやかな行事を行えている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	1	7	11 (無回答 1)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	1	9	11 (無回答 1)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	1	9	11 (無回答 1)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	2	9	11 (無回答 1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>ケアマネジャーはZoomによる草の根ネットワーク会議へ参加する事での情報共有。適宜、医療機関との連携は取れている。</p> <p>公民館で行われている高齢者向けサークルを通じて知り合った方々と、コロナ禍でも話す機会があった。運営推進会議は書面で開催している。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>コロナ禍の為、何事も慎重に行わなければならない。</p> <p>機会が無い事、コロナ感染対策が落ち着き利用者様に負担がかかからなくなる時期が来たら考えるのが良いと思う。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 現状を踏まえて、感染予防の徹底と施設内で出来る新たなレクリエーションや行事について職員間で見直しを図る。 コロナ終息を見据えた地域との連携・協定の構築を準備する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 14日(13:30 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、橋本、坂本、ソバ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	3人	3人	12人

前回の改善計画
 昨年度までは近所までの散歩や、ボランティア活動に参加して頂いている方達に行事での協力をしてもらっていたが、今年度はコロナ感染予防の為にすべて自粛している。ボランティアの方達も「自分たちも活動を続ける事が難しいと考えている」とのこと。相談の上コロナが収まるまでボランティア活動は中止している。今後については、施設の活動内容について紙面で報告し、近隣との関係を維持していきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
 コロナ禍という状況下で利用者様へ最善のサービス提供が出来るよう、会議等で話し合いを重ねている。紙面等で報告は出来ていると思うが、全く近隣との関係がない。送迎等でご近所を通らせて頂く際、姿を見掛けると声を掛けさせてもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	6	2	2	11 (無回答1)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	0	2	11 (無回答1)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	2	3	11 (無回答1)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	4	4	11 (無回答1)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 意見等を管理者にしっかり報告している。
 ご家族様からの要望等を報告し職員間で話し合えた。
 コロナ禍という難しい状況下でも出来る限りの要望に対して努力していると思われる。
 施設内ではあるが可能な限り行事を行い、利用者様の満足が得られるよう配慮している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 コロナ終息後を考慮してまで考えが至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・引き続き施設の活動内容について紙面で報告し、近隣との関係を維持していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 14日 (13:30 ~ 15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、橋本、坂本、ソバ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	1人	11人 (無回答1)

前回の改善計画

参加が必須の研修等もあるため、今後は感染症予防を徹底して外部の研修等への参加を検討していく。法人内の研修や会議内での内部研修などに参加し職員教育を継続して行っていきたい。業務の引継ぎや報告事項については、報告のやり方自体に問題はないか見直しを検討している。職員同士が意見を交える会議を有効に使い、業務改善に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

内部研修は、会議の場を利用し毎月取り組めた。シフトの関係上、参加出来るメンバーに偏りが生じている。新型コロナウイルス感染症に気を付け、内部研修に参加出来た。会議に参加した際には、意見を述べるようにしている。話し合い、改善に努めている。コロナ禍の為、外部研修自粛しているが参加の機会があれば積極的に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	3	1	2	11 (無回答1)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	2	4	11 (無回答1)
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	8	11 (無回答1)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	6	2	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

研修は己を見直し、見詰める為には大切な要素である為積極的に行うべきと思っている。状況を見て各種の外部研修に参加を検討している。ZOOMを活用した各種研修にも参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

一度行った研修を見直す(出来ているか見返す)事が出来れば良いと思う。コロナ禍の為、研修自体が少ない。意見交換の時間が少ない。地域連絡会への参加は機会がない為参加出来ていない。外部研修参加の機会があれば積極的に参加している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・人の入れ替えに対応出来るように役割分担の明確化をして業務内容の見直しをする。
- ・ヒヤリハットを活用してリスクマネジメントを職員全員に伝える環境作りをする。
- ・決まりごとの周知、徹底、継続を定着させるため先ずは朝礼夕礼の時間厳守から取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 14日 (13:30 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 鈴木ケアマネ、浅石、橋本、坂本、ソバ

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	0人	0人	12人

前回の改善計画
 個人情報を取り扱については、些細なことでも本人やご家族に同意が必要なものであることから、職員一人一人が自覚をもつ為、継続的な研修を行っていく。
 日頃から職員がお互いに注意をしつつ、支援の振り返りを図る機会を作る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 個人情報については、何度も研修の場があり人権・プライバシーが守られている。また、一人一人が注意をして取り扱い利用者様が見えない所で管理している。
 身体拘束・虐待については、会議等の機会を捉えこまめな話し合い、振り返りを行っており全職員が「知らず知らずに行ってしまうのではないか」という意識を持ち支援に当たっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	7	0	0	11 (無回答 1)
②	虐待は行われていない	8	3	0	0	11 (無回答 1)
③	プライバシーが守られている	5	5	1	0	11 (無回答 1)
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	8	0	0	9 (無回答 3)
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	7	0	0	11 (無回答 1)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 研修を通し学べている。全体的には出来ていると思うので、細かな部分をこれからも行っていく必要があると感じている。
 知りえた情報を外部に持ち出さないよう注意している。
 ご利用者様の尊厳を考えれば出来て当然の事と考える。自身が同様の事をされたらと無下には出来るはずもない。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 個人情報の取り扱いに慎重ではない職員にどのように注意すべきか課題である。情報交換と、個人情報の取り扱いは慎重に行わなければいけない。ご近所との関りや情報提供も必要になってくるため、情報が漏洩しないように注意が必要である。プライバシーの対応は出来ているが、管理、背景把握までは理解(状況)出来ていない。
 利用者様が他利用者様の物に手を出してしまう為、職印が強い口調で注意をしてしまう事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・申し送りの際、利用者様の耳に届かない環境作り。
 ・朝礼夕礼などで、職員間の情報伝達の際に利用者様の尊厳に関わる情報漏洩に意識を定着させる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人清幸会	代表者	池田 香織	法人・事業所の特徴	那須塩原市、那須町に特別養護老人ホーム（3施設）小規模多機能型施設（4事業所）グループホーム（3事業所）デイサービス（2事業所）認知症デイ（1事業所）居宅介護支援（2事業所）地域包括（1事業所）があり、利用者のニーズや身体状況に合ったサービスの提供を行うことができます。
事業所名	まつばら荘	管理者	後藤 健一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	0人	1人	人	13人	人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>新型コロナウイルスの影響で、域との交流や外部研修への参加を自粛せざるを得なかった。制限のある中での対策として、内部会議を活用し、時間効率を考え、担当職員をつけ役割分担を行い、職員が意見を言える雰囲気作りを意識し全員で取り組めるようにする。年度初めにひとりひとり目標を掲げ、2ヶ月ごとに取組みを振り返り自身で評価を行っている。その目標の中に、事業所の取組みを取り入れ意識付けに繋げていく。</p>	<p>・毎月の会議の司会を順番で行うようになってから、職員が発言を出来るようになってきている。研修も取り入れ、意見など聞かれるようになってきている。 ・個人目標の取組みによって、2ヶ月ごとに振り返ることが出来ている。</p>	<p>利用者様の不安や戸惑いを軽減するために、職員間の共通理解を深めるなど職員のみな様の専門職としての意識の高さや真摯な姿勢が伝わってきました。2.「～したい」の実現(自己実現の尊重)の項目は良好だと思われま。8.質を向上するための取組みに対して「よくできてる」と「ほとんどできていない」と答えた方の2極化が気になりました。また、3.日常生活の支援⑤の合計(総人数)が-1は無回答だったのでしようか。</p>	<p>・新人職員が増えていることもあり、朝礼夕礼の場を活用し、事業所の取組みなどを分かりやすく伝えていく。 ・取組みを個人の目標に反映させることで、意識を高める。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>まつばら荘のパンフレットは、写真を掲載していることもあり定期的に確認し、必要に応じて更新する。また、職員紹介も年1回写真と自己紹介を引き続き更新し、来荘時の楽しみのひとつにしてもらいたい。職員も自己紹介を記入することで、自分自身の振り返りや、初心の気持ちを思い出すきっかけにしていけるようにする。</p>	<p>・パンフレットの更新が定期的に出ていなかった。 ・職員紹介は、職員も楽しみの一つとして捉えている。また来年度職員紹介を作る際、一年間の振り返りをしながら作成する。</p>	<p>いつもお尋ねしても清掃が行き届き衛生的で明るい雰囲気の外観だと思います。最新のパンフレットがございましたらお譲りいただきたく存じます。</p>	<p>・パンフレットは、引き続き定期的に内容を確認するとともに必要に応じて最新のものに更新を行う。 ・職員紹介の掲示を、小規模とグループホームの玄関に別々に掲示する事でデイサービスご利用の際等、利用者様も目にする事が出来る。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域との関わりが密になりやりたい事が形になりつつある中で、新型コロナ感染症の影響を受け制限を余儀なくされている現状。こういう時だからこそ何が出来るのか？出来る事は何か？という視点を持ち、事業所が相談しやすい場所になるよう地域の方に発信していく必要がある。</p>	<p>・こういう時だからこそ何が出来るのか？出来る事は何か？という視点を持っているが、具体的な取り組みや案が浮かばない現状。引き続き視点を持ち、形にして行きたい。</p>	<p>職員さんの考える行事などの内部での娯楽はとても良いです。利用者が楽しく満足が得られる様子が見られます。 新型コロナウイルス感染症第5波は収束しつつありますが、今後第6波拡大も懸念されますので状況を踏まえての柔軟な対応が望まれます。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、面会等制限を余儀なくされている現状の中、引き続き、困りごとや相談をしやすい場所になるよう地域の方に発信していく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>新型コロナ感染症の影響を受け自粛している中で、天気の良い日は荘の敷地を散歩する、意識をしてレクリエーションを充実させ気分転換を図るよう取組んでいく。以前、関わらせて頂いたご近所の方からは、その後相談があり、結果、利用につながった。地域から必要とされる施設に近付けるよう、今後も地域を意識した情報交換等ができるよう働きかける。</p>	<p>・地域に出向く事は難しいと感じるが、地域から必要とされる施設に近付けるよう、常に地域を意識して行く。</p>	<p>自己評価の項目「本人の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？」に対して「あまりできていない」・「ほとんどできていない」と答えた方が多いようでした。まずは、管理者様が中心となられ民生委員や地域の資源について事業内研修をされるとよいのではと思いました。</p>	<p>・職員が民生委員や地域資源を把握出来ていないため、地域資源についての内部研修を行う。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>新型コロナ感染症の影響で書面での運営推進会議開催となり、施設の取組みが伝わりにくい状況にも関わらず、アンケートに対して丁寧に記入していただいている。また、アンケートでは日頃会議の場では出ない様な意見、提案も出やすい為、今までとは違った意見も聴かれている。この結果を取入れ良い方向に向かうよう取組みの参考にする。運営推進会議が開催されるようになり意見等聴かれない場合、アンケートを依頼して参考にさせていただ</p>	<p>・アンケート結果は、現場にも伝え直ぐに活かせる事は取り入れる。 ・ご家族様へ運営推進会議の報告が出来ていなかった為、まづばら便りを活用して報告をしていく。</p>	<p>年間を通しての書面開催ではありましたが、その都度会議事録に意見を集約されフィードバックされていたのが印象的でした。この積み重ねが課題解決につながり利用者様に反映されていることと思います。</p>	<p>・書面開催の中、地域の情報を得にくい。まづばら荘取り組みについてのアンケート項目に「地域の心配の方はいますか？その方はどんな様子ですか？」等という質問を取り入れ、地域の状況把握に努める。</p>

	く事も視野に入れ取り組む。			
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>新型コロナウイルスの影響により、地域の方との避難訓練が実施できていない。新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない今、感染症対策も考慮した避難訓練計画の策定、実施、備蓄品の見直しを検討する事で、有事に対応出来る施設になるような取り組みをしていく。</p>	<p>・コロナが落ち着いたら、消防訓練等の行事も地域の方々と一緒に行っていきたい。</p>	<p>大きな被害をもたらす災害が頻発する昨今、地域住民のみな様、ご高齢者のみな様にとって、まつばら荘さんの存在は心の拠り所だと思います。事業所の防災計画がおありでしたらぜひ参考にさせていただきますたく存じます。</p>	<p>・防災、災害対策に加え、新型コロナウイルス感染症クラスターへの対策と対応策に取り組む。</p>